

【サマリー】(公示前勢力順、敬称略)

<質問 5> 「エネルギー政策」について

1. 使用済み核燃料の処分について

② 最終処分地の選定に向けた現行のプロセスにおいて、課題や改善すべき点についてのご見解

政党	回答(一部抜粋)
自由民主党	処分地選定は地域理解を前提に、国からの申入れの導入や適地マップの見直しを重ね、負担軽減策も検討。
立憲民主党	最終処分場の具体的な選定は進んでおらず、国策として進められてきた原子力事業に対し、国がより責任を持ち選定プロセスに関与すべき。
日本維新の会	使用済み核燃料の処分地選定は政府の責務であり、NUMO任せにする現状は問題で明確な責任体制の確立が必要。
公明党	科学的プロセスは意義あるが、住民の不安に配慮し、透明性対話、広く議論する場の整備が必要。
国民民主党	① に総論記載
日本共産党	政府による巨額交付金での処分場押し付けは問題であり、こうした誘導的手法は見直すべき。
参政党	エビデンス重視の情報開示と地域の将来像に基づく合意形成が必要であり、国・自治体は地層処分以外の処分方法も含めた処分技術の総合的開発を進めるべき。
社会民主党	地域への交付金による押し付けに反対。原発と核ごみ処分には国民的合意と透明・民主的な議論が不可欠。